

# えくび通信

令和七年一月号(第七十九号)

恵久美を元気にする会  
カラー版はこちらから↓



松前町租税教育推進協議会「税に関する作品」書道大会

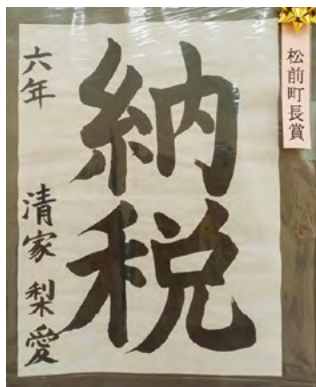
## 清家梨愛さん(岡田小6年)松前町長賞受賞



会において、岡田小学校6年 清家梨愛さん(恵久美向居南)が見事、松前町長賞(習字部門)を受賞されました。梨愛さんは、受賞の感想を「今年初めて松前町賞を受賞できてとてもうれしいです。納の糸へんの一画一画の太さやバランスを考えながら書くことが難しかったです。コツコツと習字を続けてきてよかったです」と。

「能書は人を助ける」という字の上手い人を表現した格言あります。字が上手いということは、自分だけではなく他人にも役立つという意味です。美しい文字は、相手に好感を与え、円滑なコミュニケーションの助けになると言われています。

恵久美コミュニティにも書道と地域活動に頑張っている恵久美つ子がいます。このほど、松前町租税教育推進協議会主催の令和6年度「税に関する作品」書道大



す」と。

梨愛さんは、書道について興味を持ち、綺麗な字が書け

るようになりたいと、8歳から「日本習字教育財団」で毛筆と硬筆を習っています。上手く書ける日もあれば思うように書けない日もあり、自身の精神状態といつも向き合って、文字のバランスが整うよう集中して書くよう意識して練習に励んでいます。書道で一番好きなのは「字を書くことに集中できて、気持ちが高揚かになること」だそうです。

また、恵久美コミュニティの郷土民藝部にも所属し、秋祭りや文化祭で妹の一華さん(岡田小3年)と共に獅子舞にも参加して地域に貢献してくれています。登校時には班のリーダーとして、下級生をやさしい眼差しでいつも見守ってくれています。こんなところにも書道で培われた落ち着きと穏やかな気持ちが生かされているようですね。

日本習字の最高賞である「観峰賞」も何度か受賞しておられ、書道の道とともに地域においても今後の成長が楽しみです。

恵久美通信 山本正司

## 恵久美ぎんなんクラブ 松前町より表彰される



域に根ざした地道な活動の功績に対し、松前町福祉協議会より表彰されました。

この会は、平成26年度から始まった松前町介護予防事業の施策「元気はつらつ大学」の卒業生11名が中心となり、平成27年7月から「恵久美ぎんなんグループ」として31名でスタートしました。

活動は、毎週水曜日午前9時から10時まで恵久美集会所で実施される「松前町介護予防体操」の運営です。まっさき元気体操やコロナバンド体操の健康指導や会員同士のお茶会、諸行事への参加など、コミュニティづくりの活動に努めています。大政会長は「発足以来、常時20人〜25人を維持できているのは、垣根をつくらず、自由に出入りでき、参加者がそこで育まれるつながりを楽しんでいるからではないでしょうか」と話しておられました。風が自由に行き来するように、恵久美ぎんなんクラブの、垣根を作らない会風が今回の受賞につながったのではないのでしょうか。

恵久美通信 山本正司

銀杏の木は千年以上生き続ける事もあるそうです。花言葉の「長寿」は、銀杏が長生きすることから生まれたものです。恵久美コミュニティにもそんな銀杏の木のように、健康で元気で明るく、コミュニティ活動を続けているグループがあります。銀杏の名の通り平均年齢75歳の「恵久美ぎんなんグループ」(会長 大政優氏・恵久美岡田東)です。発足10年を迎え、この度、地

# 「守りたい 未来あるから」

## 火の用心」(防火標語)

### 恵久美壮年部

#### 町消防団第七分団恵久美班

12月26日から年末恒例の年末夜警を行いました。

まだまだ手洗いなど感染対策を講じながら、12月30日までの5日間、上高柳の公園横の第七分団詰所(大間・上高柳・恵久美三班合同)に待機し、それぞれの大字を積載車や徒歩で巡回しました。「ひのようじん」の掛け声とともに「カーン、カーン」と拍子木を鳴らしながら地域を巡回しました。巡回していた消防団員を温かく見守っていただき、ありがとうございました。

の役員さんや組長さんのご協力を得てポスター掲示や周知活動を行いました。

15日当日の朝、頭王神社で大字役員をはじめ宮総代・壮年部のメンバーは不安のなか台車運行も想定しましたが、何とか大神輿を担げる人数が集まり、恵久美らしい楽しくにぎやかな秋祭りとなりました。運行面でご協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。少しずつ見直ししながら令和7年も引き続き運行していきたいと考えています。

なお、恵久美の秋祭りは、毎年「10月15日」に開催しています。令和7年は水曜日、令和10年の日曜日までは平日開催が続きます。恵久美の皆様には可能な範囲でスケジュール調整いただき、秋祭りの盛り上げにご協力いただければ幸いです。

壮年部では、メンバーの高齢化と世代交代の遅れが課題となつていますが、昨年12月に新たに2名が加入し、少しずつ改善されています。現在も引き続き新しい仲間を募集中です。壮年部(消防団)の

活動は防災だけでなく、地域のつながりを深める貴重な機会です。大字のイベントの参加や屋台の運営を通じて、恵久美の皆様と挨拶を交わしたり、関係を築いたりする場となります。また、世代や職種を超えた情報交換や、昔話などの共有を通じて、新たな発見や学びも得られます。

### ・新メンバー紹介

平井 亮司(向居)  
田中 雄也(辻南)

興味のある方は下記までご連絡ください  
**090-9559-3104**  
 壮年部部長 大政浩史



■メンバー構成(令和7年)  
60代▶3名/50代▶4名/30~40代▶4名

# 隣家の火事

## 小林防災士の防災豆知識

こげ臭いぞ?自宅にいたあなたは不審に思い、外を見たら。隣家から煙が出ています!そんな時にやるべきことを消防士さんに聞きました。あわてずにこれをやりましょう。

- ①火事ならばすぐに119番通報をする
- ②隣の家に声をかけて避難状況を確認する
- ③自宅に戻り家の人にも知らせ、窓を閉め、換気扇も止める
- ④近隣の住民にも火災を知らせる
- ⑤身の安全を確保して延焼防止に努める
- ⑥サイレンが聞こえてきたら消防車を誘導する

昨年末も松山市、松前町と続けて火災が起きました。みんなで気を付けましょう。火事の原因トップ3は、1位たばこ・2位たき火・3位コンロです。お正月はお酒も飲むことが多くなります。酔っ払ってたばこを吸いながら寝てしまうのは本当に危険です。



その一本 家も命も燃やします

たばこの始末は確実にしましょう。先日の松前町の火災はトースター使用中に火がでたようです。トースターも汚れがたまつたままだと危険なので定期的に清掃したほうが良いですね。近年型の火災原因は防災でも必需品になった携帯電話を充電する**モバイルバッテリー**です。注意としては落下や大きな衝撃があった場合、ショートするケースがあります。また直射日光が当たる場所や炎天下で使用していても発火する事があるようです。どこへでも持つていける便利なアイテムですが、お子様にはしっかりと教えてあげましょう。

火事にも災害にも気を付けて、今年もみんな笑顔でいられる年にしましょうね。

恵久美防災士 小林祐介